

2014 年度蔵前工業会埼玉県支部第 4 回幹事会 議事録

日時： 2015 年 2 月 14 日（土）18:00～19:00

場所：シーノ大宮センタービル 7 階・生涯学習総合センター講座室 3

当番：司会（大石）、書記（原田）、飲料（舟田）、弁当（小田）

出欠：出席 12 名、欠席 1 名(落合)

(敬称略)

1. 2015 年新年会報告と 2016 年新年会計画（小田、舟田）

(1) 2015 年新年会報告（小田）

下記の報告があり、これを了承した。

- ・出席者：65 名（来賓 8 名、支部会員 57 名（初参加 2 名：県西・宇田川氏、県西・内田氏）

今回は、出席の連絡があった会員全員が出席し、欠席者はなかった。

（昨年 57 名：来賓 11 名、支部会員 45 名（初参加 0 名）、他支部会員 1 名：古谷氏）

- ・出席者名簿未掲載（2 名）：県東・安田氏（受付名簿のみ掲載）、県西・本多氏（出席連絡）
- ・プログラム：東工大・蔵前本部・如水会からの来賓挨拶、留学生（インドネシア、マレーシア）のプレゼン
- ・料理：出席予定者の 8.5 割（昨年 8 割）；イスラム系留学生対策（肉料理への赤丸表示（2 点）、ハムなしサンドイッチ）
- ・報告記事：蔵前ジャーナルへ投稿（2015 春号 4/1 発行予定）、支部ホームページへ掲載（写真：舟田、石井；動画 215MB 許容量？：大石）（河面）
動画については、容量が大きいので、実行できるかどうか試行してみることにした。
- ・蔵前カード提示者への 500 円返金（舟田）

(2) 会計報告（舟田）

配布資料：埼玉支部新年会経費報告書(2014 年度-13)

以下の報告を了承した。

- ・会費収入：295,000 円（5,000 円×59 名）
- ・経費：458,869 円（会場費：430,500 円、卓上国旗（インドネシア、マレーシア）及びお茶（新年会開催前のカフェでの来賓対応）：5,869 円、お車代：10,000 円、蔵前カード返金 12,500 円（500 円×25 名）
- ・収 支：△163,869 円（支部補助と蔵前カード返金の本部補助）

(3) 募金報告（舟田）

下記の報告がなされ、これを了承した。

本年の募金 31,000 円と昨年の募金の預かり金（10,000 円）と合わせて、”蔵前工業会埼玉県支部有志”として 41,000 円を東工大基金へ送金（1 月 26 日 三島学長より礼状）

以上は 1 月末の状況である。3 月末に締めてその結果を本部に報告する。

(4) 2016 年新年会計画（案）（小田）

2016 年度新年会を下記のように行うことが承認された。

日程：2016年1月31日（日）（仮予約済み）

時間：11:30 受付 12:00 開会 14:30 閉会（本年と同じ）

会場：ブリランテ武蔵野（2015年新年会と同じ）

2. 2月28日講演会（石井）

下記のように、講演会を実施することが承認された。

演題：「耐震診断とは」

講師 佐藤俊作氏（S44 建築）

日時：2015年2月28日（土） 13:30～16:30（受付開始：13:10）

会場：ソニックシティビル 9階 902 会議室

会費：500 円

3. 2014年度（H26年度）決算見込み（舟田）

配布資料：1月末収支報告

6月末に本部で2014年度の決算が決まった後に、埼玉県支部の決算が確定するので現時点で決めることは出来ない。

1月末での決算報告を配布資料の通り了承した。

4. 2015年度（H27年度）予算骨格（舟田）

配布資料：H27年度予算案 [H27/2/11 見直し](#)

仮に2013年度や2014年度と同程度の事業を2015年度に行うとした場合の概算議題8で各担当の意見を取り入れ修正後、次回幹事会で正式に決定する。

5. 2015年総会・講演会・懇親会（小田、石井、山口）

（1）総会（小田）

2015年度第1回総会を下記のように実施する事を決定した。

開催日：2015年5月23日（土）

（東工大ホームカミングデー：5/16（土）すずかけ台、5/23（土）大岡山キャンパス）

時間：総会 13:15～14:30（受付 13:00 から）（昨年と同じ）

講演会 14:40～17:00（受付 14:20 から）（昨年と同じ）

会場：大宮ソニックシティ9階 904 会議室

会費：無料（昨年と同様）

総会・講演会の案内を蔵前ジャーナルに投稿（2015 春号 4/1 発行予定）

<今後の予定>

- ・支部会員等への案内：講演会の内容（演題・講師等）確定後に実施

支部ホームページ（河面）、葉書・Eメール（各地区担当幹事）、来賓（蔵前本部、如水会）（小田）

（蔵前本部事務局・松橋氏メール（2/9）：後日、本部からの出席者を連絡）

- ・総会資料：プログラム、役員構成表（幹事、地区委員）、活動実績・計画表／支部行事一覧（実績・計画）（小田）、決算・予算（舟田）

（2）講演会（石井・山口）

2015年度第1回講演会を下記のように実施することを決定した。

演題：講師が2月中旬に石井幹事・山口幹事に連絡する

講師：矢嶋 龍彦 氏

開催日：2015年5月23日（土）

時間：14:40～17:00（受付14:20から）（昨年と同じ）

会場：大宮ソニックシティ9階 904会議室

会費：無料（昨年と同様）

（4）懇親会

下記のように懇親会を実施することとした。

場所：はなの舞 他

参加者：幹事会メンバー、来賓（蔵前本部、講演会講師）、+希望者

会費：2,000円（+支部補助、来賓は無料）

6. 埼玉県支部の卒50年以降の対象者の支部会費徴収停止（平原、小田）

配布資料：「本部修正改正案」（添付資料1, 2）

添付資料：1)埼玉県支部における対応(経緯)、2)平原総務担当幹事(現支部長)の幹事会宛てメール、3)蔵前工業会・本房事務局長のメール、蔵前工業会会費規程(卒業後満50年経過者に対する優遇措置)、4)2014年度第3回幹事会 一般社団法人蔵前工業会埼玉県支部規程(一部改定案)

配布資料及び添付資料に基づいて支部長より説明があり、埼玉県支部としては、「卒業後満50年を経過した会員等で本部の会費の納入を免除された会員や蔵前工業会本部の終身会費を支払い済みの会員の支部会費の納入は免除する」こととした。

7. 代議員選出（平原、菊池）

2016年4月からの代議員の選出を、2015年5月23日の総会で行う。菊池幹事が代議員選出の管理を行う。3月の幹事会に、菊池幹事が候補者の原案を提出し、幹事会で案を作成して総会で決定することとした。

8. 2015年行事計画

以下の各担当者から、おおむね2014年度の行事を踏襲する旨の報告があり、これを了承した。

なお、小田総務担当幹事から「ホームページを会員が見ているかどうか気になる」、舟田会計担当幹事から「繰越金を多くするのは良くない、年間出費の半分以下にしたい。本部からもその旨指示されている」などの発言があった。

（1）支部長（平原）

（2）企画担当（石井・山口）

（3）総務担当（小田）

（4）会計担当（舟田）

（5）地区担当（各地区担当幹事）

（6）支部HP担当（河面）

（7）くらしか（報告）（利根川）

（8）3同好会（報告）（菊池・小田）

9. 次回幹事会の予定（小田）

日時：2015年3月21日（土）、18:00～21:00

場所：シーノ大宮7階講座室2

添付資料

1) 埼玉県支部における対応（経緯）

2012年度埼玉県支部総会（2012年6月17日）の議事録

6. 議 事：

(3) 議題3 埼玉県支部規程の改訂の件

議長から、本部の新法人移行に伴い昨年制定した支部規程が本部からの文言訂正等の変更依頼があり、部分的に修正改訂したむね説明があった。

→全員の拍手で原案通り承認となった。

→なお参加者から、卒50年等終身会員（以下終身会員）の本部会費支払い免除者が、新たに埼玉県支部年会費を再度徴収されることに多少の違和感があるとの意見があった。

議長から埼玉支部年会費をお願いするのは、終身会員は本部から補助金送付がなく支部運営に支障をきたすためご理解をいただきたいと説明があった。

結局この件は、本日本部から参加いただいている坪田様が本部会員部会担当であられるので、会費支払い免除者分の合理的な支部援助について蔵前本部で検討いただくこととなった。

2) 平原総務担当幹事(現支部長)の幹事会宛てメール「2012年度埼玉支部会費既納入の方」(2012.09.09)

各地区幹事殿

講演会担当幹事殿

会計 平原照晏

本年度から、卒50年や終身会員等の会費未払い者に本部から500円の支給をいただけることになったため、同会員の支部年会費1,000円の納入を廃止することと決しました。

2012年度の総会で、下記3名の方から1,000円の会費を受領していますので、今後返却いたしたく。地区幹事行事や講演会等支部行事に参加される機会を見て返却にご協力をお願いします。

(もし立て替えて頂いたら会計まで申し出ください)

県央 荒木邦夫様 35 博化

県東 小林源祐様 27 化学

県西 本多 信一様 43 建築

3) 蔵前工業会・本房事務局長のメール「支部会費を本部徴収している支部の支部規程再修正改正文案」(2015.02.10)

宮城県支部、埼玉県支部、東京支部、神奈川県支部、京滋支部、大阪支部及び兵庫県支部の支部長様
各支部長のみなさまには平素から支部活動にご尽力を賜りまして感謝申し上げます。

さて、卒業50年会員に対する支部会費の徴収方法につきましては、昨年11月14日の支部長会の前の打合せにて、本部徴収支部の卒業50年一括会費納入者については支部会費についても本部会費同

様5ヶ年度分を本部で徴収することになりました。

そのため、支部規程の改正をお願いしていたところですが、現行の改正案ですと本部への一括納入をしなくてもよいとの可能性があるという指摘がございました。そこで、より明確になるよう修正改正案をお送りしますので、各支部におかれましては、次回の支部総会での支部規程の改正にあたっては、添付した支部規程修正改正モデル案を参考していただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。なお、現行案で問題ないと判断される支部は現行案でも構いません。

「本部修正改正案」

~~支部会費の徴収については、~~支部会員が蔵前工業会の会費規程の第5条に定める卒業後満50年経過者が先5年分相当額の年会費を一括納入した場合には、支部会費についても先5年分相当額の支部会費を一括納入しすることにより、以後支部会費の納入は免除される。(註：支部会費を徴収していない支部においてはこの項の記述は不要)

蔵前工業会会費規程

(卒業後満50年経過者に対する優遇措置)

第5条

1. 卒業後満50年を経過した正会員が、先5年分相当額の年会費を一括納入した場合には、以後会費の納入は免除される。
2. 卒業後満50年を経過し、満50年より遡り20年間以上会費を納入した正会員には、卒業後満50年祝賀記念品を贈呈する。
3. 上記第1項及び第2項に規定する卒業後満50年の経過期間は、修士課程修了者、博士課程修了者及び教職員については以下の取り扱いとする。
 - (1) 修士課程修了者については、修了後満48年を経過した者
 - (2) 博士課程修了者については、修了後満45年を経過した者
 - (3) 教職員については、他大学卒業又は修了であっても東京工業大学の卒業又は修了年次と同等とみなす。

4) 2014年度第3回幹事会(2014.12.7)

一般社団法人蔵前工業会埼玉県支部規程(一部改訂案)

第14条 運営資金

この支部の経費は、蔵前工業会から交付される事業費等及び支部会員による支部会費等の拠出金をもって賄う。支部会費は1ヶ年500円とし、その徴収は本部事務局長に委託して行うものとする。ただし、卒50年以上の会員等で本部の会費の納入を免除された会員や蔵前工業会本部の終身会費を支払い済みの会員の支部会費の納入は免除、1ヶ年1000円とし、その徴収は本支部にて行うものとする。

→(小田)埼玉県支部では、2012.06の総会以降該当者から支部会費を徴収していないことから、上記改訂案でも良いかと思いますが、本部修正改正案に基づいて修正する場合は、以下の再改訂案を提案します。但し、明確化のため、先5年分の支部会費の納入先「蔵前工業会の本部」を追記し、主語の重複(「支部会員が」と「卒業後満50年経過者が」)及び会費規程第5条に卒業後満50年経過者が定められて(定義されて)いるように解釈される可能性があるため、句読点を追記。

第14条 運営資金

この支部の経費は、蔵前工業会から交付される事業費等及び支部会員による支部会費等の拠出金で

もって賄う。支部会費は1ケ年500円とし、その徴収は本部事務局長に委託して行うものとする。
ただし、支部会員が、蔵前工業会の会費規程の第5条に定める、卒業後満50年を経過した正会員として先5年分相当額の年会費を一括納入した場合に該当するときは、支部会費についても先5年分相当額の支部会費を蔵前工業会の本部へ一括納入し、以後支部会費の納入は免除される。
~~卒50年以上の会員等で本部の会費の納入を免除された会員や蔵前工業会本部の終身会費を支払い済みの会員の支部会費は、1ケ年1000円とし、その徴収は本支部にて行うものとする。~~